

▶16日 水曜

出エジプト



26:15 幕屋のために、アカシヤ材で、まっすぐに立てる板を作る。

26:16 板一枚の長さは十キュビト、板一枚の幅は一キュビト半。

26:17 板一枚ごとに、はめ込みのほぞ二つを作る。幕屋の板全部にこのようにしなければならぬ。

26:18 幕屋のために板を作る。南側に板二十枚。

26:19 その二十枚の板の下に銀の台座四十個を作らなければならない。一枚の板の下に、二つのほぞに二個の台座を、他の板の下にも、二つのほぞに二個の台座を作る。

26:20 幕屋の他の側、すなわち北側に、板二十枚。

26:21 銀の台座四十個。すなわち一枚の板の下に二個の台座。他の板の下にも二個の台座。

26:22 幕屋のうしろ、すなわち、西側に、板六枚を作らなければならない。

26:23 幕屋のうしろの両隅のために板二枚を作らなければならない。

26:24 底部では重なり合い、上部では、一つの環で一つに合うようになる。二枚とも、そのようにしなければならない。これらが両隅となる。

26:25 板は八枚、その銀の台座は十六個、すなわち一枚の板の下に二個の台座、他の板の下にも二個の台座となる。

26:26 アカシヤ材で横木を作る。すなわち、幕屋の一方の側の板のために五本、

26:27 幕屋の他の側の板のために横木五本、幕屋のうしろ、すなわち西側の板のために横木五本を作る。

26:28 板の中間にある中央横木は、端から端まで通るようにする。

26:29 板には金をかぶせ、横木を通す環を金で作らなければならない。横木には金をかぶせる。

26:30 あなたは山で示された定めとおりに、幕屋を建てなければならない。

26:31 青色、紫色、緋色の撚り糸、撚り糸で織った亜麻布で垂れ幕を作る。これに巧みな細工でケルビムを織り出さなければならない。

26:32 これを、四つの銀の台座の上に据えられ、その鉤が金でできている、金をかぶせたアカシヤ材の四本の柱につける。

26:33 その垂れ幕を留め金の下に掛け、その垂れ幕の内側に、あかしの箱を運び入れる。その垂れ幕は、あなたがたのために聖所と至聖所との仕切りとなる。

26:34 至聖所にあるあかしの箱の上に『贖いのふた』を置く。

26:35 机を垂れ幕の外側に置き、その机は幕屋の南側にある燭台と向かい合わせる。あなたはその机を北側に置かなければならない。

26:36 天幕の入口のために、青色、紫色、緋色の撚り糸、撚り糸で織った亜麻布で刺繍をした幕を作る。

26:37 その幕のためにアカシヤ材の柱五本を作り、これに金をかぶせる。その鉤も金で、また、それらの柱のために青銅の台座五つを鑄造する。

幕屋は神様の臨在を表します。その神様を中心として、この世から一線を描いているのが、板の存在です。これはまさに教会が神様を中心として、

滅び行くこの世から召しだされて一線を描く教会を想起させます。板がほぞによって堅く組みあわされて、何よりも土台が尊い銀であるように、教会も組み合わされておられ、土台はイエス様と言う尊いお方です。

31節からは至聖所という神様の聖なることを表すところについて書かれています。私たちも教会も、またその交わりも、聖なる神様を中心として、イエス様を土台として、堅く結び合わされてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

